

知的書評合戦「ビブリオバトル」開催

平成30年6月20日（水）17時45分から図書館読書指導室において「松山大学ビブリオバトル2018（前期）」（松山大学図書館・松山大学生協 共催）が開催されました。

「ビブリオバトル」は前年に引き続き9回目。バトル（発表者）が読んで面白いと思った本を持ち寄り、一人5分間でその本を紹介し、それぞれの発表の後にその発表に関するディスカッションを3分程度行い、全ての発表が終わった後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に参加者全員で投票し、「チャンプ本」を決定します。

今回は8名のバトルが、それぞれ気に入った本を持参し、観客を前に熱意を込めて本の紹介を行い、発表後は、活発なディスカッションが繰り広げられました。

投票の結果、優勝には「かがみの孤城」（辻村 深月著）を紹介した山下 真季さん（経済学部経済学科2年生）が選ばれチャンプ本に決定し、準優勝には「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」（七月 隆文著）を紹介した宮園 茉奈さん（人文学部社会学科2年生）が選ばれました。2人には賞状と記念品が授与されました。

優勝者・準優勝者の図書は、図書館にて発注・受入を行い、展示コーナーで紹介しています。

また、ビブリオバトルの様子はデジタルサイネージでも紹介しています。



優勝した山下真季さんによる紹介



バトル全員による記念撮影

Contents

- オープンキャンパス2018開催！・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 「書評の書き方教室」開催・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 私が薦めるこの一冊
 - ホントの話―誰も語らなかった現代社会学 <全十八講>・・・・・・ P4
- 第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム・・・・・・・・ P5
- 図書館アドバイザースタッフ「C3」・・・・・・・・・・・・ P6
- 図書館開館日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

オープンキャンパス2018開催！

平成30年8月4日(土)・8月5日(日)の2日間、オープンキャンパス2018が開催され、県内外から、高校生・保護者ら多数来場されました。不安定な天候ながらも多くの来場者を迎えることができました。

図書館では、デジタルサイネージによるイベント紹介、学生アドバイザースタッフC3によるクイズラリーや見学ツアーも行われ、稀覯書の「国富論」(アダム・スミス著)も展示され、2日間で延べ1,381名の方々にご来館いただきました。



打合せ風景



受付の様子



館内見学の様子



学生による館内案内



閲覧室風景



稀覯書「国富論」の展示

書評の書き方教室開催

「書評の書き方教室」（松山大学図書館主催）が下記の通り開催されました。

講師は前年度と同じく経営学部教授 藤田聡司先生で、内容は「書評とは何か 一読書感想文、ブックレポートとの違い」。

藤田先生には、「書評」とはそもそも何か、書き方はどうするのか、といった基本的なことから具体的な事例まで教えていただきました。

「松山大学図書館書評賞」の応募にもつながっています。

第1回 5月25日(金)17:45～19:00 図書館読書指導室(参加者数:5名)

第2回 6月28日(木)17:45～19:00 図書館読書指導室(参加者数:5名)





私が薦めるこの一冊



人文学部 市川 正彦

『ホントの話 —誰も語らなかった現代社会学 〈全十八講〉』

呉 智英著

小学館文庫 2003年

請求記号：304||K 64||8

配架場所：図書館閉架

呉智英は著名な評論家で、著書も多数刊行されている。しかし、松山のような田舎では、ほとんど知られていないような気もするので、この機会におススメしておこうと思う。呉は、まずマンガ評論の第一人者である。第一人者というよりも、マンガ評論という分野そのものを切り開いてきた人物といえる。マンガ評論の他には、言葉の誤用の問題や民主主義および人権思想懷疑論が評論活動の主たる領域となっている。その著作は、どれも平易な文章で綴られており、独特の諧謔味が横溢していて、読み物としておもしろい。どの本も、おススメといえばおススメである。

大学生でマンガが好きという人は多いと思う。私も大好きである。しかし、マンガ好きでマンガ評論を読む人はきわめて限られているであろう。マンガが好きな人には、ぜひ呉の『現代マンガの全体像』や『マンガ狂につける薬』シリーズを読んでほしい。マンガの世界が、さらに広がるであろう。私も、呉の著作を読んでいなかったら、近藤ようこや花輪和一の諸作品、あるいは業田良家の『自虐の詩』を手にとることなく現在に至っていたかもしれない。

さて、ここでは呉の数ある著書の中から、民主主義・人権思想懷疑論に属する『ホントの話』をとりあげてみたい。『ホントの話』の内容は大きく5つに分かれている。すなわち「人権と民主主義について」「ナショナリズムについて」「民族差別について」「現代人の愛について」「教育とマスコミについて」である。呉が繰り返し論じてきたことの総まとめのような本になっている。

私たちは、小中高校で民主主義や人権の大切さを、これでもかというぐらい先生たちに教え込まれる。民主主義・人権思想の中核的理念である自由と平等を求

めていくことは尊いことだと教わる。この小中高で至高の真理のように教わってきた「常識」を疑うところから出発しようというのが、本書の主張である。なぜならば、自由と平等の名のもとに、ロベスピエールの恐怖政治があり、ソ連の収容所国家が生まれ、ポル＝ポトの大虐殺が生じたからだという。現代の日本にも、人権派と呼ばれる人々がいる。「被告人の人権を守れ、容疑者の人権を守れ、結社の自由を守れ、思想信条の自由を守れ」と訴えてきた人々のことである。呉は、先ごろ死刑執行が行われたオウム真理教事件に際して、この人権派が醜態をさらしたことを指摘する。また「大企業や政治家などの圧力に屈せず、大衆の俗悪な欲望に流されない記事や番組を作る」などという理想や倫理をマスコミに求めてはいけなく、と呉は説く。「ジャーナリズムは商売でしかありえない」、反権力も反体制も商売だと。であるから、マスコミに求められるのは、よい商品を作って届けるという商業道德だということになる。人権派がどのような醜態をさらしたのか、なぜマスコミに求められるのが理想ではなく商業道德なのか、その詳細は本書をお読みいただきたい。

また、かねてから呉は、東支那海の西に広がる大陸部を、日本だけが「支那」と呼称できずにいる不条理を指弾してきた。本書でも懇切丁寧にその論旨が展開されている。これもご一読いただきたい。さて、私のパソコンでは「SINA」と打っても、「支那」が一発で出てこない。「支那」は、現代史などの分野では必須の用語だと思われるのに、なぜか辞書に入っていない。これって「自主規制」ってやつなんですか。何はともあれ、私たちの常識や思い込みが揺さぶられること必定の一冊である。

第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム開催!

平成30年9月6日（木）・9月7日（金）の2日間、第8回大学図書館学生協働交流シンポジウムが広島大学東広島キャンパスにて開催されました。「学生と共に成長する図書館―協働が生み出す新しい魅力―」をテーマに、南は鹿児島から北は東京まで、図書館ボランティアに携わる大学生と職員が参加し活発な意見交換がなされました。

初日の基調講演は、在学生による新入生図書館ガイダンスの実施についてでした。学生スタッフという具体例を通して、図書館の使い方を紹介することにより、新入生がより図書館活用を身近に感じられたということ、また学生スタッフが図書館運営に参加しているという自覚を持ち、図書館利用の理解を深めることができたという話は大変参考になりました。2日目のワークショップでは学生協働の問題点を話し合い、解決策をグループごとに模索しました。

C3（松山大学図書館学生アドバイザースタッフ）の学生たちも、それぞれの役割分担を果たしました。このようなシンポジウムに学生が参加することは、広い視野で物事を捉え、自分なりの考えを持つ機会となり、これからの学生生活の幅を確実に広げる貴重な経験でした。



C3メンバー



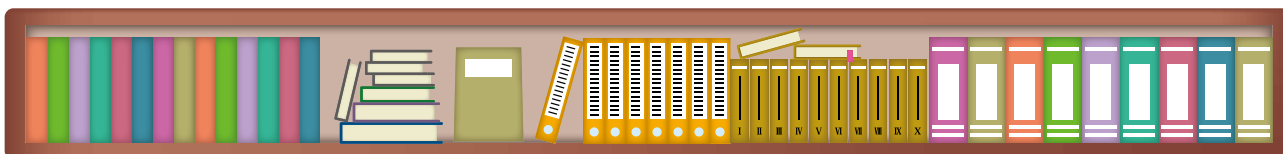
参加者記念撮影



ポスターセッション



ワークショップ



図書館学生アドバイザースタッフ「C3」

C3って？

「C3」のネーミングは、「Chance」「Challenge」「Change」の頭文字からとったものです。「与えられたChance（機会）を活かし、積極的にChallenge（挑戦）していくことで、大好きな図書館をより多くの人に好きになってもらえるようにChange（変化）させていこう！」というコンセプトで名づけられました。

学生の図書館利用促進のため、図書館をもっとより良くしたいと思っているメンバーによって、各種イベントを企画・立案・実行している学生サークルです。

活動紹介

●図書館見学ツアー

主に、オープンキャンパスや新入生を対象に、地下2階から地上4階を回る図書館見学ツアーを実施しています。

図書館をもっと詳しく知ってもらえるよう、クイズラリーも交えながら、今年も多くの方に参加して頂きました。



●ブックハンティング

年に2回程度、実際に書店に行き選書を行います。

選書した本は1階「C3選書コーナー」に配架されます。

学生目線で選ばれた本なので、比較的読みやすい図書が多く、人気のコーナーとなっています。



他にも、図書館主催のイベント補助や、1階展示を行っています！



C3による選書コーナー



1階展示

C3による福袋企画

春の読書週間にあわせて、福袋企画に初めてチャレンジしました。図書館は多くの本がある場所ですが、借りるとなると特定のジャンルの本や同じ作家の本になりがちです。そんな偏りを越えて、いつもとは違うジャンルの本に出会うきっかけをつくってもらいたい！図書館資料の幅広さを理解してもらいたい！という思いで企画しました。

C3のメンバーが選んだ20冊のおすすめ本を、中身が見えないように1冊ずつ包装し、利用者は何が入っているかわからないまま借りてもらいました。しかし中身が全くわからないというわけではなく、中身のヒントになるようなキーワードやテーマをカードに書いて福袋に貼り、それを手掛かりに本を選んでもらいました。



2018年福袋企画の展示

図書館紹介DVD作成

図書館Navi



C3で図書館紹介のDVDをつくり、新入生ガイダンスとオープンキャンパスで流しました。撮影やナレーションも自分たちで行い、編集は放送研究会の協力を得て作成しました。

学生みなさんに図書館を有効に活用し、文献・情報を効率的に検索・収集できるよう、学生目線だからこそできる図書館利用のアドバイスや、学習のサポートを紹介しました。

〈コラム〉

くんじょう 燻蒸について

燻蒸処理くんじょうしりは図書館地下書庫及び貴重文書保管書庫等に対して行う害虫駆除及び防カビ対策の方法です。

図書館の世界では10年に1回程度行うものとされています。また実施時期は、休暇中に行うのがベストと考えられ、今年度は夏季休暇中に実施されました。

書庫には90年以上前から所蔵の図書が多数置かれており、書庫内の湿度等は除湿設備等によって一定程度を保っています。燻蒸処理を施すことにより快適な書庫管理を行い、所蔵図書の状態を最適に保つことができるようになりました。



松山大学図書館 開館日程

2018年10月～2019年1月

2018年 10月			11月			12月			2019年 1月		
1(月)	9:00～22:00		1(木)	9:00～22:00		1(土)	9:00～22:00		1(火)	休館	
2(火)			2(金)			2(日)	休館		2(水)		
3(水)			3(土)	休館	文化の日	3(月)	9:00～22:00		3(木)		
4(木)			4(日)			4(火)			4(金)		
5(金)			5(月)	9:00～22:00		5(水)			5(土)		
6(土)	休館		6(火)			6(木)			6(日)	9:00～22:00	
7(日)			7(水)			7(金)			7(月)		
8(月)	9:00～22:00	体育の日	8(木)			8(土)			8(火)		
9(火)			9(金)			9(日)	休館		9(水)		
10(水)			10(土)			10(月)	9:00～22:00		10(木)		
11(木)			11(日)	休館		11(火)			11(金)		
12(金)			12(月)	9:00～22:00		12(水)			12(土)	休館	
13(土)	休館		13(火)			13(木)			13(日)		
14(日)			14(水)			14(金)			14(月)	成人の日	
15(月)	9:00～22:00		15(木)			15(土)			15(火)		補講日
16(火)			16(金)			16(日)	休館		16(水)	9:00～22:00	
17(水)			17(土)		推薦入学試験	17(月)	9:00～22:00		17(木)		臨時休講・授業日
18(木)			18(日)	休館	推薦入学試験	18(火)			18(金)	9:00～17:00	センター試験 準備のため休講
19(金)			19(月)	9:00～22:00		19(水)			19(土)	臨時休館	センター試験
20(土)	休館		20(火)			20(木)			20(日)	休館	センター試験
21(日)			21(水)			21(金)			21(月)	9:00～22:00	
22(月)	9:00～22:00		22(木)			22(土)			22(火)		
23(火)			23(金)	休館	勤労感謝の日	23(日)	休館	天皇誕生日	23(水)		
24(水)			24(土)	臨時休館	熟田津祭	24(月)		天皇誕生日の振替休日	24(木)		
25(木)			25(日)	休館	熟田津祭	25(火)	9:00～17:00		25(金)		
26(金)			26(月)	臨時休館	体育の日の休日振替	26(水)			26(土)	9:00～22:00	
27(土)	休館		27(火)	9:00～22:00		27(木)	臨時休館	館内整理	27(日)		臨時開館
28(日)			28(水)			28(金)	休館		28(月)		臨時開館(1期入試)
29(月)	9:00～22:00		29(木)			29(土)			29(火)		統一試験日
30(火)			30(金)			30(日)			30(水)	9:00～22:00	
31(水)						31(月)			31(木)		

※上記日程は変更が生じる場合があります。開館日程は『松山大学ホームページ』及び『学内ポータル』で確認してください。

案内	■長期貸出のご案内	冬季休期中	冊数	貸出期間	返却期限日
			5冊	12月10日(月)～12月22日(土)	1月8日(火)

冬季休暇の2週間前から特別貸出を行っています。
 対象：本学の学生
 ※この期間中でも、ベストセラー・C3図書・NHK講座・Graded Readers・指定図書・資格試験図書の貸出期間は2週間です。

松山大学図書館報 No.62 2018年10月1日発行

編集・発行 松山大学図書館

〒790-8578 松山市文京町4番地2 TEL (089) 925-7111 (代)

ホームページアドレス <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

E-mail: mu-libs@matsuyama-u.jp